

# 樂美術館事業報告要旨

令和 元 年度 期間：2019年4月1日～2020年3月31日

---

## I 美術館活動事業

### 1. 作品・資料公開活用に関して (詳細は別紙の通り)

#### (1) 展覧会活動

- 1) 春期特別展 樂歴代 富士を見る
- 2) 夏期展 樂焼って何だろう? 茶碗 肌 めくもり
- 3) 秋期特別展 樂歴代 魂を映じて

Mirrors into the Soul -Raku Tea Bowls through the Ages-

展覧会関連企画:ギャラリートーク

- 4) 新春展 ことのはの宴
- 5) 春期特別展 樂歴代 用の美-作陶の広がり-

#### (2) 手にふれる美術館活動

手にふれる樂茶碗鑑賞会、特別鑑賞茶会  
親子で見る展覧会 解説とワークショップ

#### (3) 他機関との協力活動

- 1)他の美術館・博物館との協力事業
- 2)その他の機関・団体との協力事業

### 2. 保存・修復に関して

- 1)窯業材料試験
- 2)箱の修復

### 3. 作品・資料収集に関して

- 1) 新規購入作品3点を基本財産に繰り入れた。
- 2) 7点の作品寄贈を受け基本財産に繰り入れた。

## II 研究・資料図書公開事業

- 1)歴代解説小冊子はじめ研究図書資料を前年度に引き続き公開、販売した。

## III 学校・社会教育事業

#### (1) 小・中・高等学校への協力活動

- 1) 「親子でお茶一服」を開催した。
- 2) 研修授業・修学旅行学習等への協力をした。

#### (2) 大学、各種学校のゼミ、研究会への協力活動

#### (3) 地域社会への文化事業協力、社会教育活動

## IV 入館者数状況

## I 美術館活動事業 1. 作品・資料公開活用に関して (1) 展覧会活動

### 館展示事業

展示事業 1 春期特別展 楽歴代 富士を見る 2019年3月16日(土)～6月30日(日)

今年とは特別な年、新しい元号のスタートです。楽家も新しい元号と共に代替わりをします。新しき年への思いを込めて、楽歴代展と題し、特に日本の象徴・霊峰富士を意匠に取り入れた歴代作品を中心に展示。黒楽、赤楽茶碗にくっきりと描かれた的皦たる富士の絵、新しい元号の年がこの富士のように清々しい未来世界となりますようにと、思いを込めた展覧会。

展示事業 2 夏期展 楽焼ってなんだろう？ 茶碗 肌 めくもり 2019年7月6日(土)～8月18日(日)

楽茶碗の柔らかい肌を通して、そこから楽茶碗の特徴のひとつでもある「めくもり」や、堅い・柔らかい・厳しい・優しいなど茶碗がまとういろいろな表情に焦点をあてた展覧会。

展示事業 3 秋期特別展 楽歴代 魂を映じて Mirrors into the Soul 2019年8月24日(土)～12月24日(火)

—Raku Tea Bowls through the Ages—

日本文化が海外に注目されている昨今。その底流にある「The Soul」を感じ取って戴くべく、楽茶碗を通し楽歴代が大切に受け継いできた「The Soul」に焦点をあました。450年にわたり貫かれてきた「The Soul」。また、時代の中で新たな創造性を導いてきた「The Soul」。いろいろな「The Soul」を感じていただく展覧会。

特別展 関連企画 「15代楽吉左衛門 ギャラリートーク」 全9回開催

館長楽直入が展示作品や見どころ、歴代について解説。

9月 6日(金) 参加者30名、10月11日(金) 参加者16名、11月8日(金) 参加者30名、

12月23日(月) 参加者34名

展示事業 4 新春展 ことのはの宴 2020年1月5日(日)～3月8日(日)

ことのはの原点は万葉集と考へ、和歌や俳句などから「銘」が付けられた作品を中心に展示。土から捏ねられ、火によって誕生した茶碗に言の葉が与えられることによって、観る者の感じ方が変わる面白さと、言の葉に込められた人々の祈りや願いをに焦点をあてた展覧会。

展示事業 5 春期特別展 楽歴代 用の美—作陶の広がり 2020年3月14日(土)～3月31日(火)

楽焼のルーツである三彩技法を反映して、懐石道具などのうつわ類をはじめ、意外な道具や器物が、緑、黄、赤などの色釉を使って、彩り豊かに表現されています。楽歴代が造り出した茶碗を中心に、茶の湯の「用」にあわせた作陶の広がりに焦点をあてた展覧会。

## I 美術館活動事業 1. 作品資料公開活用に関して (2) 手にふれる美術館活動

### 1. 手にふれる樂茶碗鑑賞会

当館所蔵の作品を手に触れて鑑賞する。当館所蔵作品は、茶碗をはじめとした茶の湯工芸品である。館付属の小間茶室で茶の湯道具組を再現、その後広間に移動し、作品を手にとって鑑賞。作品の解説、質疑応答を行う。

・開催期日

定例 毎月1回開催 ※但、8月は休会

・参加者 各会 計約30名

【特別開催】

8月27日 京都ホテルオークラ「季節の旅」 18名

10月5日 山梨県表千家同門会 17名

11月16日 京都造形芸術大学 和の伝統文化コース 寺田孝重先生 27名

2月16日 国際交流基金 9名

2月25日 京都日本語教育センター 9名

### 2. 特別鑑賞茶会

当館所蔵作品を用いての茶会形式による作品鑑賞会。館長樂直入による作品解説、質疑応答を行う。

・開催期日 (8回実施)

2019年 5月12日、6月9日、7月7日、9月22日、10月13日、12月8日

2020年 2月9日、3月15日 (新型コロナの影響で中止)

・参加者 各回 計約70名

【特別開催】

2020年2月9日 和塾 大丸松坂屋百貨店 外商顧客限定催事 参加者17名

### 3. 親子でお茶一服

副館長樂扶二子が小・中学生の親子を対象に特別鑑賞茶会を行い、小間での空間を体験し、広間での茶の湯体験を指導、解説した。実際に古い樂茶碗でお茶をいただく体験に、子供も親も興味津々だった。

・開催期日 2019年5月5日

・参加者 中学生1名、小学生8名、小学生以下3名、保護者14名

### 4. 親子で見る展覧会 解説とワークショップ

館長樂直入が子供達に樂焼について解説し、黒窯制作のビデオを鑑賞。その後、子供達に実際に展示している鞆を吹いたり、実際に使用している、土や、石、炭などに触れていました。

また、粘土で手捏ねの茶碗も作成し、制作後は各々の作品について館長樂吉左衛門が解説をしました。遊び感覚の中で子供の自発的な発想力や観察力を発揮させるよう工夫を凝らしており、子供達からは、いくつも作品を作ったり、また活発な質問も多く見られ、盛会でした。

・開催期日 平成30年8月11日

・参加者 中学生2名、小学生9名、幼児10名、保護者20名

## I 美術館活動事業 1. 作品資料公開活用に関して (3) 他機関との協力活動

### 1. 他の美術館・博物館への出品・講演など協力活動

- ・根津美術館 「江戸の茶の湯 -川上不白誕生三百年-」  
2019年11月16日～12月23日  
如心斎作 赤樂茶碗 銘菊坐 計1点を出品協力
- ・茶道資料館 「近代の博覧会と茶の湯」  
2019年12月13日～2020年3月29日  
町野長門守伝符状 計1点を出品協力
- ・NHKプロモーション 「利休のかたち-継承されるデザインと心」  
2019年12月27日～2020年1月20日 松屋銀座にて  
初代長次郎 黒樂茶碗 銘万代屋黒 他 計6点を出品協力
- ・ハースト婦人画報 「婦人画報創刊115周年記念特別展 -婦人画報と京都 つなぎ、つたえる人と家」  
2020年1月2日～1月20日 美術館「えき」KYOTOにて  
十二代弘入 赤樂茶碗 家祖年忌 他 計6点を出品協力
- ・さかい利晶の杜「さかい利晶の杜開館5周年記念 千年の宇宙 -手のひらの中の宇宙 宇宙の中の人類-」  
2020年2月22日～3月22日  
十五代直入 焼貫黒樂茶碗 銘碎動風鬼 他 計3点を出品協力

### 2. その他の機関・団体との協力活動

- ・京都ロータリークラブ茶道会  
裏千家鵬雲斎大宗匠ご指示のもと、館長樂直入挨拶、コンセプトを解説し、  
「秋期特別展 Mirrors into the Soul」を鑑賞。その後、当館の茶室にて裏千家社中がお茶をもてなす。  
2019年9月19日 参加者66名
- ・承天閣美術館 「茶の湯 禅と数寄」記念特別講演  
館長樂直入が「長次郎と光悦とわたし」と題し、講演を行う  
2019年1月25日 定員80名
- ・さかい利晶の杜「さかい利晶の杜開館5周年記念 千年の宇宙 -手のひらの中の宇宙 宇宙の中の人類-」  
館長樂直入が宇宙飛行士土井隆雄氏と「千年の京都と千年の宇宙」と題し、講演を行う予定でしたが、  
新型コロナウイルス禍の影響で中止  
2020年3月20日 定員170名